

わたしの 効果倍増! 教材活用術

『らくらくノート』を使って 「学習のしつけ」を

滋賀県守山市立吉身小学校教諭

石谷 信子

1. はじめに

新年度がスタートした最初の学年会で、たくさんの教材見本の中から採用するテスト・ドリル・ノート類を選んでいくのが恒例になっています。久しぶりに2年生の担任になり、「ノートのエマスの大きさは、どれくらいがよかったかなあ」などと考えながら選んでいる時に目にとまったのが『らくらくノート』。ひと目見て「これだ!」と飛びつきました。

小学校、特に低学年のうちに「学習のしつけ」を身につけさせることは非常に大切です。「学習のしつけ」とは、話し方・聞き方や書く時の姿勢、鉛筆の持ち方をはじめとして、机の上にとどのよう教科書やノートを置くか、筆箱の中に何を揃えるかということまで含みます。これらのことをしっかりと指導することが、将来にわたって学力を支える学習習慣を身につけさせ、学習意欲を育てることにつながります。

その「学習のしつけ」の中で、「ノートをいいねいに、誰が見ても見やすいように書く」

ということとは大きな比重を占めています。いいねいに見やすく書くことで、一つひとつの問題に集中して取り組みます。また、自分で書いた「0」と「6」を見間違えるというようなことも少なくなります。『らくらくノート』は、このノート指導にぴったりのノートなのです。以下にそのよさを具体的に述べていきます。

2. 『らくらくノート』を使つての指導の実際

① 見やすいノートが無理なく作れる

ノート指導をする際には、その日の日付、ドリルの番号、問題の番号を書くということから指導します。当たり前のことのようですが、低学年ではきちんと指導しないと、いきなり解答を書き始めたり、どこか問題をやっているのかわからなくなってしまうたりすることがあるのです。また、算数の練習問題では、ノートを横に使っていくのか、縦に使っていくのかということも考えなければなりません。

せん。

2年生の場合、黒板に見本を示しながら事細かに注意できる授業中はまだしも、宿題となるとなかなか教師が示したようにはできず、行き当たりばったりのぐちゃぐちゃになってしまうことも少なくありません。その点、『らくらくノート』にはこれらのことがすべて書き込めるように事前に薄く印刷してありますから、家庭学習でドリルをする時に、ノートにしているにも関わらず書き込み式のドリルをしているように整然と仕上がるのです。



▼ 『らくらくノート』の誌面



日々の授業で使う教材や教具。

隣のクラスや隣の学校のあの先生は、一体どんな使い方をしているのでしょうか？

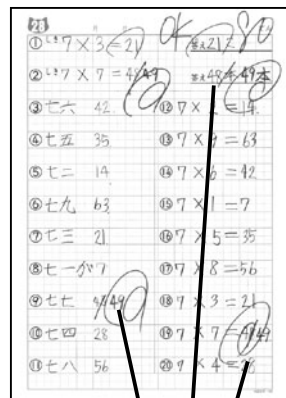
このコーナーでは、気になる教材活用術を紹介します。

▼筆算の必須条件である「位を揃えて書く」習慣が自然に身につく



② 問題と問題の間に必ず空白部分ができる
 2年生の算数で初めて筆算を学習します。筆算をノートに書く時に、問題と問題の間(上下左右)に空白を作らずに詰めて書いていくと、筆算の答えと次の問題が重なったり、答えどうしが重なったりしてしまいます。ノートのマス目の数と問題の桁数を考えて、体裁よく問題番号を打っていくのは、2年生にとっては大変難しいことです。しかし、『らくらくノート』では、あらかじめこの空白部分が作れるように番号が打ってあります。また、①には問題が、②には「+」「-」の記号と筆算の線が薄く印刷されていますから、それをなぞることにより、③以降もどのように問題を書いていけばよいか一目瞭然で、どの子もきれいに位を揃えて筆算ができます。位を揃えることは、筆算の必須条件です。きれいに揃えて書くことが当たり前、揃っていないと何だか気持ち悪いという意識を植えつけることがまさしく「学習のしつけ」なのです。

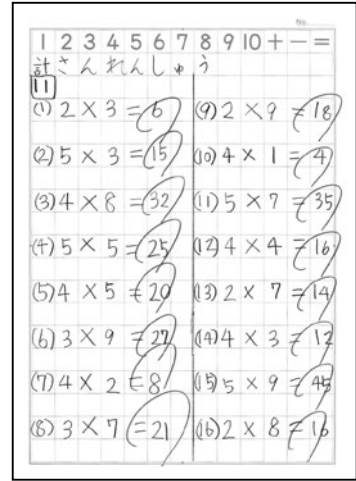
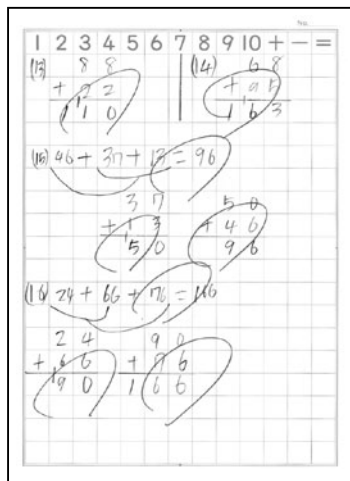
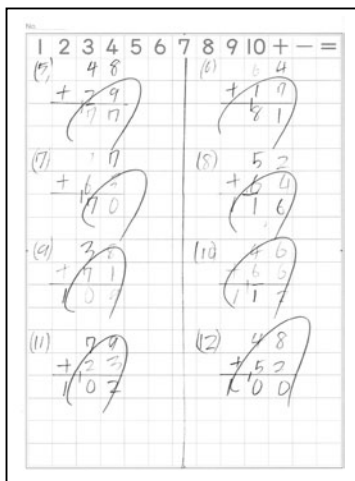
③『らくらくノート』を授業ノートに生かす
 『らくらくノート』で練習したことは授業で使うノートにも生かされます。ドリルは問題が縦に並び、教科書は横に並んでいますが、『らくらくノート』のように、上も下も右も左も1行空くように書いていくんだよ」と言うと子どもたちは簡単にイメージできます。『らくらくノート』に頼りすぎると自分でノートを整理する力がつかないという考えもあるかと思いますが、『らくらくノート』に正しく繰り返し書かせることで、先ほども述べたようにきれいに書くことが当たり前という感覚が身につくとき、授業用のノートにもその



間違った答えと 計算し直した答え

この空白は見やすいということ以外に、間違った時に計算し直した答えを書くことにも使えます。私は「間違いは宝物」ということを徹底し、間違った答えは絶対に消ささせません。必ず、計算し直した答えを新たに書かせるようにしています。こうすることで、自分のつまずきが明らかになり、同じミスを繰り返すのを防ぐのに有効です。

▼子どもたちが授業で使っているノート。『らくらくノート』の要領で、きれいに書けている。



感覚を生かせると思います。

